

くまもと県振連だより

タミアス Ταμιας

Vol. 2016.11

55

「タミアス」はギリシャ語で「店主」の意味。「くまもと県振連＝熊本県商店街振興連合会」は店主の元気をつくる組織です。

トピックス:がんばろう!くまもと商店街!!「にぎわい創出事業」

みんなに元気を!スペシャルハロウィン
from銀天街2016



本渡中央商店街振興組合



スペシャルハロウィンで賑わう銀天街

『みんなに元気を!スペシャルハロウィンfrom銀天街2016』のイベントを開催致しました。

6月に中小企業庁より商店街震災復興等事業(商店街にぎわい創出事業)の情報を得て、ハロウィンに的を絞り内容を検討しました。

地元の天草ケーブルネットワーク様に業務を委託し、宣伝方法は、紙類(ポスター・折込チラシ)に加えFacebook等でもアピールを致しました。結果、約1,300人程度の参加者がありました。

～がんばるばい！上通～「チャリティ演劇まつり」

2016年4月、熊本市を中心とした地域で大規模な地震が起こり、熊本県内は甚大な被害を受けました。市の中心部に位置する上通も例外ではありません。ビルや店舗の破損、商品の損害など多くの店舗が被災しました。

地震から1ヶ月が過ぎ、ライフラインも回復傾向にあり、上通でも店舗前にワゴンを出したり、各店が協力してバザールを実施するなど復興へ向けて動き出しました。

上通では『アートで街を賑やかに！』というコンセプトのもと2012年から「上通アートプロジェクト」を継続して展開しており、去年は第3弾として「上通演劇まつり」を開催しました。震災後、来場者の減少、売上の減少が懸念される中で、賑わいを取り戻すべく模索していたところ、昨年実施した演劇づくしの3日間は、演劇を見たことのなかったお客様にも多数来場いただき、会場にはお客様があふれる程の賑わいでした。

演劇には、生の声と目の前にある身体だからこそ生まれる一体感があります。演者と観客が一緒になって笑って泣いて、人と人とが繋がり、いろいろなものが復興へ向けて進んでいければと願っています。

上通から県民に、全国に元気を発信します。

- イベント概要 【総合演出】 池田 美樹（劇団きらら）
- 【出演】 熊本県内外の劇団 など
- 【日程】 2016年8月12日（金）～14日（日）の3日間（予定）
- 【開催場所】 上通アーケード内特設会場、熊本市現代美術館アートロフト
- 【入場料】 熊本市上通五丁目商店街振興組合・上通商栄会

■企画内容

「アーケード劇場」 上通アーケード内に特設舞台を設置。上通のお店の歴史や名物商品を劇仕立てで紹介するほか、劇団混合チームでの短編劇、パフォーマンスなどを行います。

「現美劇場」 熊本県内劇団を中心に、九州各地の人気劇団による短編劇を上演。小劇場の醍醐味を味わっていただきます。

「パレード&フィナーレ」 上通の面々、出演者、観客が一緒になって、上通アーケード内をパレード。オリジナル曲「なんだか、とっても、上通」にのせて、お客様を各会場にご案内。歌って踊って、パレードに参加していただきます。



上通商栄会
事業委員長 富永 裕二



アーケード内に舞台を設置しての演劇披露



熊本市現代美術館での出演劇団による演劇①



演劇人が通行客を即興で応援するパフォーマンス



熊本市現代美術館での出演劇団による演劇②

～がんばろう熊本～「元気マルシェ in 並木坂」

上通1・2丁目商店街(振)
理事長 橋本 幸二

■実施概要 【日時】(第1弾)平成28年9月10日(土)～11日(日)の2日間 12:00～17:00
(第2弾)平成28年10月22日(土)～23日(日)の2日間 12:00～17:00

【会場】上通1・2丁目商店街(並木坂)の車道

【主催】上通1・2丁目商店街振興組合・上通商栄会

■企画内容

この度の熊本地震で甚大な被害を受け、農作物を丁寧に育て収穫したにも関わらず売り先にご苦労されている農家さんがいるとの情報を受け、商店街で何か支援出来ないかと思い、上通1・2丁目商店街振興組合の理事で集まって話し合いを行い今回のマルシェを開催することになりました。

当初、産地の方々に直接来て販売して頂こうと話を持って行ったのですが、被災後の処理等でなかなか手が回らないということで、こちらから現地へ行って買い付けをして、「仕入れ値」で販売を行いました。野菜の販売経験もなく、何がどれくらい売れるのだろうかという手探りの状態でしたが、天候不順等による野菜値が高騰中だったこともあり、お客様へ好評を頂き、延べ4日間共にほぼ完売することが出来ました。また同時に商店街加盟の店舗でもワゴンセールを行いました。

今回のマルシェが被災地農家の皆様へどれだけの支援につながったかはわかりませんが、今後も機会があれば開催したいと考えております。

最後にご協力を頂いた、西原村「俵山交流館萌の里」南阿蘇村「あそ望の郷くぎの」益城町のお米「早野様」に感謝申し上げます。また、外部より応援に来て下さった「西岡青果様」、「olmo coppia様」「山都町ひまわり会様」ありがとうございました。

この度のイベントで出来た農家と上通商店街の新しい繋がりが今後の熊本復興への一助となれば幸いです。



トマトとみかんの販売



ミニトマト詰め放題



販売ブース準備中



販売の様様

夜の100円商店街・100円焼酎フェス [7/23]



人吉東九日町商店街振興組合

4月の熊本地震で被災された商店街の皆様、並びにお客様に対し心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をご祈念申し上げます。

人吉東九日町商店街（振）は、人吉市内の中心商店街に呼びかけ、「人吉ふれあい100円商店街」を主催し、その事務局を担っています。この100円商店街は、今年の7月で15回を実施して毎回多くのお客様にご来街いただいております、お客様とのふれあいを通して、本来持っている商店街の良さを感じていただいているところです。

お客様アンケートも毎回採っておりますが、「来てよかった、また



人吉球磨の25歳元の焼酎が勢揃い！

来ます、継続してほしい」など商店街に対しての心温まるエールをたくさんいただいております。

中でも当地の主要産業である球磨焼酎の各メーカーも売り上げがダウンした経緯があり、これを挽回しようと今回の計画に至りました。

7月23日100円商店街当日は、幸い天候にも恵まれ、球磨焼酎組合の協力で、28歳元が一堂に会し、100円で飲み比べができるとあって、多くの地元客や観光客でにぎわいました。



人吉東九日町商店街（振）
理事長 岡本 光雄

この7月は、初の試みとして暑い日中を避け「夜の100円商店街・100円焼酎フェス」を実施し、好評を博しました。4月の熊本地震では、県下各地でイベントのキャンセルや飲み会の自粛等で、飲食業界も苦戦した経緯がありました。当地におきましても、風評被害で観光客の足が遠

のき、観光業界も苦戦をいたしました。

のき、観光業界も苦戦をいたしました。



初の試みの100円焼酎フェス



人吉は夜まで賑やか！

健軍サマーフェスティバル[8/20・8/21]



健軍商店街振興組合

健軍商店街では8月20日(土) 21日(日)の両日、「健軍サマーフェスティバル」と銘打って地震からの復興と街の賑わいを取り戻すために「商店街にぎわい創出事業」を利用して、夏のイベントを開催いたしました。

内容としては、まず20日は本渡および牛深からそれぞれ「ハイヤ踊り」の団体に来ていただき、時間帯を分けて演舞してもらいました。また、「健軍特区」という民間団体とのコラボで、健軍マルシェも開催しました。その他には地元中学の生徒会によるクイズ大会など、多彩に進行いたしました。

21日は「英太郎のものまねショー」を目玉に、地元タレントのショーやフラダンス、商店街青年部特製の焼きそば作り(2日間)



健軍商店街(振)
理事長 森田 憲一(右)
副理事長 有働 栄一(左)



牛深ハイヤ!! みんなで踊って元気になろう!

や健軍マル
シェ、そし

て同じく2日間通しての琉球國祭り太鼓(エイサー)の演舞などを行い盛り上がりました。

今回のイベントを振り返りますと、ハイヤ踊りやマルシェ、タレントショーと、お年寄りから若い人たちまで集えるお祭りになったのではないかと思います。特に今年は地震のため昨年からはまった熊本市花火大会も中止を余儀なくされたこともあり、なんとなく元気を失いかけていた商店街にとって活気を取り戻す一助になったのではないかと思います。



英太郎のものまねショーで盛り上がった!!

子飼やるバイ市[8/20・9/17] 子飼満腹王国[10/22]



子飼繁栄会商店街振興組合



子飼繁栄会商店街振興組合
代表理事 下川 弘

◆ 子飼やるバイ市に関しては2度実施され、子飼やるバイ丼の販売もあり家族連れが多く来街し大盛況でした。その他、当日限定のワンコイン(500円)商品が店頭並び、飲食業以外の各店舗も売り上げ向上に繋がりました。



子飼やるバイ市実行委員長
中川原 堅一郎



ごはんを持って並んでいます



これが子飼やるバイ丼!

◆ 満腹王国に関しては当日が雨だったため、テントやステージの設置場所変更等があり集客も危ぶまれましたが、始まってみるとお客様もたくさん来街していただき大盛況でした。

販売をしたサンマや焼き芋、無料配布の子飼大鍋も早めに無くなり、お客様に喜んでいただきました。



満腹王国実行委員長 渡辺 正宏



恒例の子飼大鍋を食するお客様



雨でも行列 ありがたい!

両イベントを通して感じたことは、新規のお客様を多く集客できたことと、食の商店街として知られている子飼をさらにアピールできたように思います。また、若手経営者によるフェイスブックによる宣伝効果、店主の奥様達による子飼大鍋作りによるコミュニケーションの深化など、売り上げ向上のみならず多くの副産物も生まれ、良かったと思います。地震による復旧復興は道半ばではありますが、施設設備の復旧復興のみならず、店主・奥様・従業員一体となって子飼商店街の評判を高め、自店の魅力を高めて子飼商店街の元気を発信していきたいと思えます。

ちびっこ妙見祭・妙見キャラクターピザ作り体験会



八代本町1.2.3丁目商店街振興組合

10月23日(日)、ユネスコ登録が待たれる妙見祭の後継者育成イベント、「ちびっこ妙見祭」が本町アーケードで開催されました。八代市内の保育園、幼稚園、小学生が沢山来街し、様々なイベントに参加しました。本町1丁目商店街振興組合では、商店街のイベント広場であるがらっぱ広場で、子供たちに妙見祭の出し物を学んでもらうため、妙見祭の出し物であるそれぞれのキャラクターをピザにし、みんなで美味しく食べよう！というイベントを開催。定員をオーバーする盛況ぶりで、明るい子供たちの笑い声が絶えない1日となりました。

昨年、がらっぱ広場に設置したピザ窯により、食のイベントを数多く開催することができ、体験型の親子で参加できるイベントをこれからも開催し、多くの方楽しんでいただこうと思っています。



まちなか活性化協議会
事務局長 江崎 博美



第1回八代通町軽トラとれたて市 [9/18]



通町商店街振興組合

平成28年9月18日(日)八代市通町周辺にて平成28年度熊本地震震災復興支援「第1回八代通町軽トラとれたて市」を開催しました。

通町市道180mを歩行者天国にし22台の軽トラが集まり、採れたての野菜や鮮魚、生花、陶器・お茶・出来たてのお惣菜などの販売を行いました。販売の他に「復興餅投げ」や「和太鼓」の演舞も行いました。当日はあいにくの雨にも関わらず、たくさんのお客様で賑わいました。



実行委員長 森山 正規



新鮮、山積み軽トラとれたて市！



野菜つめ放題 1袋200円だよ！



生憎の雨、それでも賑わう通町

アーケードで子ども商店街in新市街



新市街商店街振興組合

サンロード新市街商店街振興組合では、青年部や組合店の方々を中心に月に1度商店街活性化にむけたワークショップを開催しています。その中で商店街のコンセプトを「時間を遊ぶ」と設定し、親子連れや子どもたちを対象としたイベントを積極的に行っています。

今回、商店街のにぎわい創出事業制度を活用し、「子ども商店街」というフリマイベントを開催しました。子どもたちが店の店主となり、自ら持ち寄った商品を仮想通貨「ルド」を利用して売買をします。実際に商品を売って得られた「ルド」は、食べ物に変えたり、体験コーナーで遊べたり福引き所で景品に変えたりすることができるシステムです。当日の子どもたちは、日ごろなかなか経験することができない商いの楽しさやものが売れた時の達成感を感じながら生き生きと活動していました。また出店したいという子どもたちの声を大事にしながら、今後も親子を対象としたイベントを通して街の活性化を図っていきます。



新市街商店街青年会
安田 征司



まちなか動物園 [8/6~7]



下通新天街商店街振興組合



やぎさん、ひつじさん、ロバさん、アヒルさん、りくがめさん
など下通にたくさんの動物がお目見えしました！

の“夏まちランド”の催事と相まって多くの来街者があった。囲いの中で動物たちと戯れたい子供たちの長蛇の列を見て、このとき、市民の想いと私達主催者側との思いが重なった。子供たちの笑いや動物とのふれあいが、熊本地震を糧に生きることの幸せを感じた2日間であった。

4月に熊本地震が発生し、あらゆる諸機能が一時的にせよマヒ状態となり、熊本市民の生活はどん底に陥った。予定されていたイベント・コンサートは、全て中止もしくは延期となり、熊本は閉塞感が漂った。

熊本支援への一環としてにぎわい補助金制度が創設され、下通新天街では「まちなか動物園」と「肥後のつりてまり」の2事業を申請し採択された。

平成28年8月6日(土)~7日(日) 動植物園がまだ閉鎖された中での開催となり、熊本県民テレビ主催



下通新天街副理事長
兼 新天街事業部長
木下 修

県振連女性部 意見交換会 (in八代)

県振連女性部は、平成28年8月24日(水)人吉九日町、八代本町1・2・3丁目・通町、下通の代表15名が参加し、八代にて意見交換会を致しました。八代では月一回の会議や、いちごの日(偶数月の15日に実施)に商店会でお買い上げのレシートで抽選会をしたり、2～3月は八代のお雛祭りに各商店街をあげて催したり、8月は土曜日の夜に夜市を行い、11月は妙見祭の祭りの前夜祭や山車の展示がアーケードで行われるなど年間を通じての活動報告が行われました。今後についての報告の中で八代では健康についての関心が皆様高いので、いちごの日に保健所の方に依頼をし健康診断を実施したり、テクテクウォークとして万歩計をつけ歩いて順位を競い商品を頂くなどの取組みが報告されました。健康に関してはお客様も関心が高いこともあり今後の集客についてのヒントが隠されているように感じました。



本町三丁目女性部
近宗 馨



県振連女性部



女性部の熱い議論が交わされる

県振連巡回視察報告 (八代・人吉)

日時：平成28年9月6日(火) 場所：八代市・人吉市商店街

県振連釧羽会長の発案により、商店街同士での意見交換会を行いました。八代市ではメ理事長をはじめ、各番街の役員の方、女性部も交えて昼食を取りながら話をしました。地震の影響もあり、アーケード内の通路も直射日光によりひびが入り通行に制限がある事や、イベントの意義等話をしました。

その後、人吉市でも意見交換会と懇親会を行いました。東・西九日町の村上専務理事とは青年部の高知研修以来久々に会い、会話も弾みました。他にも100円焼酎フェスはイベントとしても地産地消で有望である事を話しました。

こういう連携は非常に役に立つと感じました。商店街のイベントは地元だけで話す事が多く客観的な意見が出にくく、変化(進化)しない事もあり退化する気がします。今後もっと交流をすると互いに切磋琢磨できると感じました。



上通商栄会
森岡 大志



挨拶する釧羽会長
於 人吉きじ馬スタンプ協同組合



八代商店街の方と白熱した意見交換

コラム

商店人語

街なか 思い出

連載① 熊本地震を振り返って

熊本地震が起こり将来何時発生するのかという議論が起こり、未来というものに不安が発生した。未来というものは予測が困難な事であろうか。未来が予測出来るのであれば、それに備える事が出来るし心構えも出来るのであり、それなりの対策も生まれて来るものである。私は過去に米国を訪問する機会があり、最初はダイエー企画のツアーで、2回目はYMCAサンアントニオ訪問のツアーであった。いずれの機会にも、私は熊本の未来を見る機会があったと思えた。

アメリカは完全な車社会の世界であり、社会も生活の仕組みも車を中心とした世界で完成しており、車社会がどのように世の中の仕組みを支えるかということを目の当たりにする事が出来た。経済人の人達の中には早くそれに気付いて、それを自分の仕事に取り入れていた人がいた。大型店ではダイエーの中内功、イトーヨーカドーの伊藤雅俊、飲食業ではロイヤルの江頭匡一らがいた。

彼等は戦後早くからアメリカ流の経営手法を取り入れ、自己の経営に取り入れていた。私は父、木下高の命でダイエー主催の米国SC視察に参加した。ダイエーがまだ全国展開する前で、福岡ショッパーズプラザが計画の段階であり、そのような意味でテナント集めの為もあり、取引先の予定者を集めてツアーが企画された。参加者もダイエーの取引先やテナント希望者が集まっており、熊本からは三陽と他に1社高岡というフルーツの取引先が参加していた。

父、木下高は終戦後、焼け野原で映画館を再興する場所として手取本町の上通と下通の交差する立地を選定した。これは将来的に正しかった。この立地は商店街の復興と共に変わらず熊本の中心街の役割を果たし、市内最高価格の立地を確保している。その後、鶴屋を始め大型店が手取本町に集中したことも効果を上げた。しかし世の中が車中心の社会となり立地条件も車社会中心に変わってきている。電車・バス利用の人の流れが変わってきてつつあることも事実であり社会は変化しつつある。私共はこの立地でテナントに長崎屋・パルコを入れてビルの活用化を図った。

社会は変わり、世の中は変化する。この社会の変化に応じた事業の対応を考えることが経営者のあり方となる。これまでは高が戦後焼け野原となった手取本町という立地に映画を再興して事業を興すという決断に端を発し、その立地が戦後も益々重要となってきたものであるが、同時に他の大型店が集中してきたことが手取本町と云う立地を価値あるものとして高めてきたのも幸運があった。しかし、この幸運が何時まで続くか永遠という事はあり得ない。人間とは常に希望的観測に傾きやすい。人間ならば誰にでも現実の全てが見える訳ではない。多くの人は見たいと望む現実しか見えない。

立地条件も、現在は車社会に便利な郊外型商業施設時代で変化し、施設の在り方も社会の動きによって変わってくるので先の予測をつけることは困難であっても社会の動きをよく見極める。困難にたじろかない。困難な問題を避けない。という事業精神はどのような時代になっても必要な精神と云えるのではないか。お先真っ暗な時も、希望をもって打開していくという気力が必要ではないだろうか。



下通繁栄会元会長
下通新天街元理事長
木下 康

いって
みなっせ!

商店街の組合員や青年部、女性部の皆さんが行きつけの
お店を紹介するコーナーです!

その 11 『すゑもの亀屋』

HYPERLINK

"mailto:suemonokameya@gmail.com"
suemonokameya@gmail.com
熊本市中央区南坪井町 1-9 山村ビル 2F



並木通りの
PAVAO の店主
平沢 絵梨奈さん

私は並木坂で小さな飲食店を運営していますが、職業柄急なお客様のお誕生日祝い
や結婚祝いに頭を悩ませることがよくあります。
せっかくなら他とは違う気の利いたプレゼントをと思うけれど、毎度毎度だとネタに
も尽きる。

そんな時大変重宝しているのがこちらの『すゑもの亀屋』。この焼き物屋さん
がちょっと変わっているのは街中の雑居ビルの中という立地だけではありません。小
さなパン屋のごとく、奥の工房部分で成形から焼成までされた作品が出来立てホヤホヤ
で表のギャラリースペースに随時並ぶスタイル。訪れる度に新しい作品に出会えるの
でネタに事欠くことはありません。個人での注文も可能なので時間に余裕がある時
は、相手に合わせた器をオーダーメイドする事も出来ます。

私のお店では料理に合わせて器をオーダーする事も多々。これまた大変重宝しております。
アイデア次第で楽しみ方が広がる焼き物屋さん『すゑもの亀屋』オススメです!!

次回は、牛深商店街(振) 江崎 航さんが紹介します。



これはおすすめです!

メガネの大宝堂 上通本店

〒860-0845 熊本市中央区上通町 5-6
TEL 096-354-2155
営業時間 10:00~19:30
定休日 なし



メガネの大宝堂
布田 善久さん

そのままでも、メガネの上からでも掛けることができるサングラスです!
「遮光レンズ」という特殊なレンズが入っているため、まぶしさを抑えるだけ
なく、色の濃淡がはっきりして見えやすく快適です。ぜひ店頭でご体感くださ
い!



遮光レンズ入りサングラス



私がメガネの上から
かけてみました

※次回は、HANAバーの松永哲典氏が紹介します!

「ストリートラグビー in 銀杏祭」

開催日:平成28年10月8日(土)

場 所:銀座通り ※歩行者天国(下通り~駕町通り間の特設会場)

「第12回城下町くまもと銀杏祭」と合わせて「ストリートラグビーin 銀杏祭」が開催されました。

ラグビーワールドカップ2019熊本開催の周知と、ラグビーフットボールの普及の目的で行いました。

「ストリートラグビー」は人工芝を敷いた20×8mのプレイフィールドで、3人対3人でプレーするタッチラグビーです。

沢山の歓声の中、子供たちがフィールドを駆け回ってラグビーの面白さを体感できたのではないのでしょうか。とても楽しそうでした(^^)/



「下通四番街Deハロウィンパーティー2016」



下通四番街振興組合

開催日:平成28年10月29日(土)

場 所:下通四番街アーケード

ハロウィンイベントを、下通では初めて四番街で開催しました。下通四番街とは、通称「角マック」から街の駅ひこまるのふるさとショップ迄の2ブロックです。メイクゾーンでは、先着順で四番街の加盟店で当日に千円以上のお買物をされたレシートを受付に持って来られた方に、ワンポイントのハロウィンメイクを無料体験。ご協力いただける方は写真を撮影しInstagramにアップ。DJゾーンでは音楽をかけ雰囲気作り。飲食ブースでは飲み物や500円ワンコインで軽食を提供。とても賑わった一日でした。



《受講申込み&お問い合わせ先》

発行

熊本県商店街振興組合連合会 熊本市中央区練兵町62 第2ロータリービル3F

TEL096-353-4666 FAX096-353-4577 E-mail info@kumanet.jp URL http://www.kumanet.jp/